

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月1日

## 【評価実施概要】

|       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| 事業所番号 |  |       |  |
| 法人名   | 特定医療法人 栄公会                                 |       |  |
| 事業所名  | グループホーム栄公                                  |       |  |
| 所在地   | 大阪府泉佐野市中町3丁目3番46号<br>(電話) 072 - 458 - 6780 |       |  |
| 評価機関名 | NPO法人 カロア                                  |       |  |
| 所在地   | 大阪市天王寺区堀越町1-1天王寺堀越ビル                       |       |  |
| 訪問調査日 | 平成19年9月27日                                 | 評価確定日 |  |

【情報提供票より】( 19年8月20日事業所記入 )

## (1) 組織概要

|       |                  |                          |      |
|-------|------------------|--------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 13 年 1 月 18 日 |                          |      |
| ユニット数 | 2 ユニット           | 利用定員数計                   | 18 人 |
| 職員数   | 9 人              | 常勤 5人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.2人 |      |

## (2) 建物概要

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 建物構造 | 鉄筋    | 造り      |
|      | 2 階建て | 1 2 階部分 |

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |       |
|---------------------|----------|----------------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 35,000 円 | その他の経費(月額)     | 円     |
| 敷金                  | 有( 円)    | 無              |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)    | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費                | 朝食       | 円              | 昼食 円  |
|                     | 夕食       | 円              | おやつ 円 |
|                     | または1日当たり | 1,000 円        |       |

## (4) 利用者の概要( 8月20日 現在 )

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性   | 4 名  | 女性 | 14 名 |
| 要介護1  | 1       | 要介護2 | 7    |    |      |
| 要介護3  | 3       | 要介護4 | 6    |    |      |
| 要介護5  | 1       | 要支援2 | 0    |    |      |
| 年齢    | 平均 86 歳 | 最低   | 67 歳 | 最高 | 97 歳 |

## (5) 協力医療機関

|         |               |
|---------|---------------|
| 協力医療機関名 | 佐野記念病院、岸村歯科医院 |
|---------|---------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄り駅から徒歩15分の閑静な住宅街の一角にある非常に家庭的なホーム。駐車場や玄関前には季節の花や木が植えられ、地域住民が気軽に訪れやすいような配慮も見受けられました。また、夜間のケアがより行き届くようにとの思いから、夜勤者2名(基準上は1名で可)を配置されるなど、非常に質の高いサービス提供を目指しておられることが確認できました。また、スタッフの考えや姿勢からも、より良いホームに変えていきたいとの強い熱意が感じられました。

## 【重点項目への取組状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>共用空間・個人空間ともに、より家庭的で快適に過ごせるような改善や配慮が随所に見受けられ、入浴や金銭管理の方法についても利用者個々に満  |
|      | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>地域活動への積極的な参加や災害発生時の地域への働きかけを検討されています。また、地域権利擁護福祉事業や成年後見制度が必要な利用者への支援や、高齢者虐待防止関連法関連の研修会への参加なども考えてお                              |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>自己評価・外部評価・普段の生活状況等についての報告や討議を行い、会議で得られた意見については、全職員で意見交換を行い、サービスの向上に活かしておられます。                                   |
|      | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>玄関前に苦情・要望受付箱を設置。また、面会時に家族から意見を聴取したり、年二回 家族交流会を設け、その際にアンケート調査を実施されるなど積極的な取り組みが見られ、得られた内容を運営に反映されています。                 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>買物に出かけて地域交流を図ったり、ホーム内の畑で収穫した野菜を近隣に配るなど、積極的な働きかけを行っておられます。また、市社協を通じてボランティアの受け入れを行うなどもされています。今後、更に連携を深めていくための方法についても色々と模索・検討されています。 |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| <b>1. 理念に基づく運営</b>           |      |  |   |                     |                                  |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |  |   |                     |                                  |
| 1                            | 1    | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 地域密着型サービスとしての考えを取り入れた明確な理念が掲げられていました。   |                     |                                  |
| 2                            | 2    | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 理念の内容を運営上の目標に掲げた事業計画書が存在し、理念の実践に向けたきめ細かな取り組みがなされていました。  |                     |                                  |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |   |                     |                                  |
| 3                            | 5    | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 市社会福祉協議会の協力を得て、地域ボランティアを積極的に受け入れておられます。また、地元の町内会長に運営推進会議のメンバーとして参加いただくことで、地域への交流を働きかけ、町内会等が主催するイベントに講師として参加された実績もありました。 |                     |                                  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |   |                     |                                  |
| 4                            | 7    | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 自己評価や評価結果の内容を家族に公表されています。また、評価で得られた気づきを活かし、積極的に改善されるなどの努力がホーム内の随所に見受けられました。   |                     |                                  |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                          |
|------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| 5                      | 8    | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>              | <p>運営推進会議で得られた意見を全職員で討議し、サービス向上に活かしておられることが会議録等で確認できました。</p>  |                     |   |
| 6                      | 9    | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                               | <p>市町村担当者並びに地域包括支援センター職員と連携し、虐待等困難事例の相談及び受け入れを行うとともに、空床が発生した場合には随時、情報提供等を行っておられます。</p>                        |                     |   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                     |   |
| 7                      | 14   | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>家族が気がかりなことや意見・要望を職員に気軽に伝えたり相談できるよう、面会時の声掛けや電話等により、個々にあわせた報告を積極的にされています。</p>                                |                     | <p>一部の家族より、職員の異動があれば速やかに報告して欲しいとの要望がございましたので、ご検討ください。</p> |
| 8                      | 15   | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>苦情解決責任者、苦情受付担当者を配置し、玄関先にはご意見箱の設置も見られました。また、年二回アンケート調査を実施し、その結果を職員間で分析・検討するなど、運営に反映させておられます。</p>            |                     |   |
| 9                      | 18   | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>利用者へのダメージが大きいことを十分理解した上で、無意味な異動はしないようにするとともに、人事考課制度に基づくフィードバック面接を実施し、各職員の不満や要望を聞くなど、退職を未然に防ぐ努力をされています。</p> |                     |   |


| 外部評価                             | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |   |   |                     |                                  |
| 10                               | 19   | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                  | 外部研修への参加はもとより、グループ内の老健や病院の研修も含め、段階に応じた定期的な人材育成計画をたてておられました。また、研修参加者の復命書提出も徹底されていました。                              |                     |                                  |
| 11                               | 20   | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている        | 看護学生の受け入れや、同業施設への研修や研修受け入れなどの実績があり、サービスの質の向上に積極的に取り組んでおられました。   |                     |                                  |
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |      |   |   |                     |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |   |                     |                                  |
| 12                               | 26   | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | サービス開始前に、入居予定者や家族にホームの見学に来ていただき、他の入居者や職員との交流を図っていただくなどの配慮をされています。また、雰囲気になじみやすいよう、愛用品の持ち込み依頼などを積極的に図っておられます。       |                     |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |   |   |                     |                                  |
| 13                               | 27   | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 本人の生活暦や人生観を導く話をし、会話の中で自然な形で役割や分担を見出し支えあう関係を築いておられ、また、本人の得意な分野（畑仕事・家事・華道・茶道・絵描き等）で、自由に喜怒哀楽が出せるような雰囲気作りも大切にされていました。 |                     |                                  |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>       |      |   |  |                     |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |  |                     |                                  |
| 14                                    | 33   | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>自然な会話の中から意向を把握できるよう努めておられました。また、ご家族の意向を踏まえたり、アンケートで希望を聴取されるなど、積極的な働きかけを行っておられました。</p>   |                     |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                     |                                  |
| 15                                    | 36   | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>職員の気づきやアイデアに加え、本人や家族の意見も積極的に聞き出し、それらを反映した介護計画の作成がなされていました。</p>                          |                     |                                  |
| 16                                    | 37   | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>通常は3ヶ月に1回の見直しと6ヶ月に1回のケアカンファレンスを実施。なお、変化があった場合には関係者全員で話し合いの上、現状に即した新たな計画を随時作成されています。</p> |                     |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |  |                     |                                  |
| 17                                    | 39   | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>                                     | <p>事業所の多機能性を活かし、1対1で本人の要望に応えられるよう心がけておられます（外出や買物・室内レク・生活リハビリ・園芸作業等）。</p>                   |                     |                                  |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                        |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------|---|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |   |                     |   |
| 18                                 | 43   | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>             | <p>本人及び家族が希望するかかりつけ医が往診されています。また、希望される医師が遠方の場合にも、利用者納得の上で、自法人が運営する病院からの往診を受けることが可能であるなど、適切な医療を受けられる配慮や体制が整備されていました。</p> |                     |   |
| 19                                 | 47   | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から関係者でカンファレンスを行うとともに、本人や家族が方針を決定するための情報を提供されています。</p>   |                     | <p>ある程度重度化した場合にも、ホームに継続入居できるような方策について検討されることを期待します。</p> |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>     |      |   |   |                     |   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |   |                     |   |
| <b>(1) 一人ひとりの尊重</b>                |      |   |   |                     |   |
| 20                                 | 50   | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                          | <p>接遇に関する研修会に参加したり、月1回個人情報についての話し合いを行うことで、プライバシーの確保の徹底に努めておられます。</p>  |                     |   |
| 21                                 | 52   | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>           | <p>一人ひとりのペースを大切にした個別支援が徹底されていました(塗り絵を楽しむ人、テレビを観ている人、ソファでゆったり談笑されている人等)。</p>   |                     |   |

| 外部評価                          | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)      |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|---------------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |  |   |                     |                                       |
| 22                            | 54   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者と職員と一緒に準備や食事、後片付けをされていました。また、利用者の意見を反映した食材を取り入れるなど、より食事が楽しくなるような配慮も見受けられました。 |                     |                                       |
| 23                            | 57   | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 職員配置の兼ね合いで入浴回数に制限が見られました。   |                     | 出来る限り利用者の意向に沿った楽しい入浴となるような取り組みに期待します。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |  |   |                     |                                       |
| 24                            | 59   | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの特性を活かした個別支援がなされていました(趣味活動・外出支援・園芸等)。                                      |                     |                                       |
| 25                            | 61   | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | その日の希望にそった外出支援(買い物・散歩・庭にある菜園で過ごす等)がなされていました。                                    |                     |                                       |
| (4) 安心と安全を支える支援               |      |  |   |                     |                                       |
| 26                            | 66   | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中は玄関に鍵をかけず、職員の見守りや気づきによって外出の希望を察知するなどにより、自由な暮らしを支えておられました。                     |                     |                                       |

| 外部評価                       | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|----------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| 27                         | 71   | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 近隣母体施設との合同非難訓練には職員のみが参加。また、日中・夜間を区別した緊急時対応マニュアルが整備されていました。   |                     | 地域の人々の協力が得られるような働きかけに期待します。また、2階で暮らす入居者の非難経路が階段となりますので、緊急時を想定した円滑な避難誘導方法や訓練についてご検討ください。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                     |   |
| 28                         | 77   | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 個々の食事摂取量や水分摂取量を記録することで、健康管理に役立てておられます。また、母体施設の管理栄養士のアドバイスを受けながら、栄養バランスが考慮された食事メニューが用意されています。         |                     |   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |      |  |  |                     |   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |      |  |  |                     |   |
| 29                         | 81   | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は清掃が行き届いており、不快な音や光もなく、居心地よく過ごせるような工夫がなされていました。また、季節に見合ったちぎり絵（利用者と職員で共同作成）を毎月掲示されるなど、季節感も感じられました。 |                     |   |
| 30                         | 83   | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 居室には使い慣れた物品が置かれ、また季節の装飾をされるなど、居心地よく過ごせるような配慮がなされていました。   |                     |   |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。